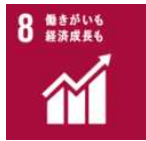


普及現地情報



発信年月日:令和4年(2022年)11月16日
所属名:湖東農産普及課
番号:F22007
部門分類:120(麦・豆・雑穀)
発信者名:鋒山、籠

集落営農法人連携組織での小麦播種前研修会を開催しました

集落営農法人連携組織「河瀬アグリネット」にて、4法人（ファーム犬方、つづらファーム、河瀬西部営農組合、KGファーム）が小麦栽培に関する技術向上、情報交換を目的に、小麦播種前研修会を10月8日に開催しました。

「河瀬アグリネット」が所在する彦根市河瀬学区では、昨年のお大雪による湿害でR4産小麦の収量が平年を大きく下回る結果となりました。今季も厳しい冬が予想されており、経営の安定化に向け「排水対策の強化」や「播種量の見直し」が最重要課題となっています。

そこで、本研修では当組織内で厳冬年でも安定した小麦栽培が実践できるよう、当課よりR5産に向けた小麦の栽培ポイントを説明しました。具体的には、図や写真を用いて適切な排水溝の本数や深さを示しました。播種量に関しては、目標収量から逆算して設定することや実際の苗立ち数と計算上の苗立ち数に乖離がないか確認することを促しました。

説明後、参加した各4法人からは多数の質問があがり、R5産小麦の収量向上に向けて意欲的に取り組まれる姿勢が伺えました。

当課では引き続きJAと連携し、連携組織内での営農技術の均一化・向上に取り組み、河瀬学区における地域農業のさらなる発展に向けた活動を支援していきます。



小麦播種前栽培研修会の様子